

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	自然災害においては、立地環境上水害対策への強化が今後も課題である。消防団などの協力関係も今後必要かと思われる。	年に1回は水害対策への訓練を継続的に行っていく。	年2回の消防訓練で1回は水害訓練を行い、地区の方々に協力をお願いし、山下ビルへの避難を定期的に行っていく。最終避難場所への移動手段や必要物品なども確認をとっていく。	12ヶ月
2	20	行きたい場所への支援が少ないので、人や場所との関係性が途切れるおそれがある。	行きたい場所を引き出し、1回は行くことが出来るようにする。	住んでいた地域や会話の中から行きたい場所を聞き出し、家族の協力も得て行けるようにハード面やソフト面で調整する。	12ヶ月
3	52	居心地のよい共有空間づくりを継続する。	生活環境全てが入居者に影響を与えるものとして考え、意味のある環境づくりを行っていく。	その時代に生きてきた方々の季節ごとの習慣や食にまつわる物で和やかな生活環境が維持できるようにする。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。